

平成 22 年 1 月 8 日  
日本銀行旭川事務所

## 金融経済概況

### I. 全体感

道北地域の景気は、低迷しているものの、持ち直しの動きが広がっている。

すなわち、最終需要面での動きをみると以下の通り。公共投資は大幅に増加しているほか、設備投資は持ち直しつつある。この間、個人消費は、政策効果を主因に、持ち直しの動きがみられている。一方、住宅投資は大幅な減少が続いている。

こうした中で、生産は一部に持ち直しの動きがみられるが、雇用環境は厳しい状況が続いている。

金融面では、預金が引続き堅調なものの、貸出は前年をやや下回った。貸出約定平均金利は横ばい圏内で推移している。

### II. 実体経済

#### 1. 最終需要項目別動向

(1) **個人消費：政策効果を主因に、持ち直しの動きがみられている。**

平成 21 年 11 月の百貨店・スーパー等主要大型店の売上高は、旭川地域で、一部百貨店の閉店に伴う他店への嵩上げ効果等がみられたものの、別の大型店で開店以来続いた押し上げ効果が一巡したことから、前年同月並みとなった。その他の地域を含めた管内では、低調な動きが続いており、全体では前年同月を若干下回った（前年比＜同旭川地域＞： $\Delta 2.3\% < +0.4\% >$ 、21/7～9 月  $+1.2\% < +4.7\% >$ ）。

11 月の新車登録台数（含む軽乗用車）をみると、貨物車は若干減少したものの、乗用車は、エコカー減税、買替え補助金の措置が継続される観測となり、極めて好調だったことから、全体では前年同月を大幅に上回った（前年比： $+19.8\%$ 、21/7～9 月  $+2.4\%$ ）。

11月の貨物輸送量は、紙・パルプは減少となったものの、食料品、水産物、木材等が増加したことから、前年同月を上回った（前年比：+5.6%、21/7～9月△1.2%）。

11月の空港（旭川、稚内、女満別、紋別）利用客数は、稚内空港で前年同月を上回ったが、その他の空港で前年同月を下回り、全体では前年同月を大幅に下回った（前年比：△14.0%＜旭川空港△15.1%＞、21/7～9月△10.9%＜同△10.1%＞）。

11月の電力消費量は、産業用で前年同月を下回ったものの、民生用で前年同月を上回ったため、全体では前年同月を若干上回った（前年比：+1.1%、21/7～9月△1.0%）。

## (2) **公共投資：大幅に増加している。**

11月の公共工事請負金額（上川・宗谷・網走支庁管内）は、宗谷・網走支庁管内で7割の増加となったほか、上川支庁管内でも若干の増加となったため、全体では4ヶ月連続で前年同月を大幅に上回った（前年比：+27.8%、21/7～9月+20.3%）。

## (3) **設備投資：持ち直しつつある。**

道北地域の「企業短期経済観測調査」（平成21年12月調査）における21年度設備投資計画をみると、前年度同期実績対比で上期3割強の減少となった後、下期には4割強の増加となる見込みである（21年度下期計画前年同期比：+41.5%）。この結果、21年度通期でみると、20年度並みの水準に回復する見込みである。

11月の主要4市（旭川、北見、網走、稚内）の非居住用建築確認申請（床面積）をみると、稚内・網走市で前年同月を上回ったが、北見市で前年同月を若干下回ったほか、旭川市で前年同月を大幅に下回ったことから、全体では前年同月を大幅に下回った（前年比：△58.4%＜旭川市△69.3%＞）21/7～9月△5.4%＜同+12.8%＞）

#### (4) **住宅投資：大幅な減少が続いている。**

11月の主要4市（旭川、北見、網走、稚内）の居住用建築確認申請（床面積）をみると、稚内市を除く3市で前年同月を上回り、全体では前年同月を大幅に上回った（前年比： $+12.6\%$ ＜旭川市 $+2.1\%$ ＞、21/7～9月 $\Delta 26.8\%$ ＜同 $\Delta 27.6\%$ ＞）。

## 2. 業種別動向

### （第一次産業）

11月のオホーツク漁業（稚内、枝幸、網走、紋別）をみると、主だった魚種（スケソウ、ホッケ、カレイ、ニシン、ホタテ、秋鮭）の落込みにより、水揚げ数量、金額とも前年同月を大幅に下回った（数量前年比： $\Delta 21.2\%$ 、金額前年比： $\Delta 22.9\%$ 、21/7～9月数量前年比： $+12.7\%$ 、金額前年比： $\Delta 9.7\%$ ）。

11月の生乳出荷量は、前年同月を上回る水準が続いている（前年比： $+0.6\%$ 、21/7～9月 $+2.2\%$ ）。

### （製造業）

11月の製材出荷量（速報値）は、広葉樹の道外向けが増加したものの、道内向けが減少したほか、針葉樹は道内・道外向け共に減少したことから、全体では前年同月を大幅に下回った（前年比： $\Delta 14.5\%$ 、21/7～9月 $\Delta 23.5\%$ ）。

普通合板の出荷量は、道内・道外向け共に減少したことから、前年同月を下回った（21/10月前年比： $\Delta 7.2\%$ 、21/7～9月 $\Delta 15.1\%$ ）。

紙・パルプの出荷量は、印刷用紙、板紙が低調であったものの、パルプシート、情報用紙、包装用紙、雑種紙が好調だったため、前年同月を大幅に上回った。

電子部品関連では、携帯電話関連を中心に、生産および出荷が、持ち直している。

## 3. 雇用・倒産動向

11月の常用新規求人数（旭川、稚内、北見、網走）は、網走地区で前年同月を下回ったものの、旭川・稚内・北見地区で前年同月を上回ったことから全体では、前年同月を上回った（4地区合計前年比： $+6.5\%$ ＜旭川地区 $+7.6\%$ ＞、21/7～9月 $\Delta 1.7\%$ ＜同 $\Delta 7.7\%$ ＞）。11月の有効求人倍率（常用）は、稚内・北見地区では前年同月を上回ったが、旭川・網走地区で前年同月を下回っており、雇用環境は厳しい状況が続いている。ただ、ここ5～6ヶ月の流れをみる

と、全体としては緩やかではあるが持ち直し傾向にある（付表参照）。

11月の倒産件数は6件、負債総額は19億円となった（21/7～9月中件数：17件＜前年同期比：△51.4%＞、同負債総額：44億円＜前年同期比：△76.9%＞）。

### Ⅲ. 金融動向

11月末の金融機関預金残高は、堅調な動きが続いている（表面預金残高前年比：+2.0%、前月比+0.1%）。

11月末の金融機関貸出残高は、前年同月をやや下回った（貸出残高前年比：△1.3%、前月比△0.9%）。

11月末の旭川市内金融機関の貸出約定平均金利（総合）は、横ばい圏内で推移している（2.089%、前月比：+0.002%ポイント）。

11月に日本銀行が管内で受入れた銀行券は93億円と前年同月（111億円）を18億円下回った。一方、払出した銀行券は92億円と前年同月（96億円）を4億円下回った。この結果、受超額（1億円）は前年同月（15億円）を14億円下回った。12月の受入れは73億円（前年同月59億円）、払出しは258億円（前年同月233億円）となった結果、払超額は185億円となった（前年同月は174億円の払超）。

以 上

<本件に関するお問合せ先>

日本銀行旭川事務所 電話 0166-23-3181

ホームページ <http://www3.boj.or.jp/asahikawa/>

## 道北主要経済指標

道北：上川、宗谷、網走支庁管内、P=速報値 r=修正値

	数量・金額 21/11月 (合板は21/10月)	前年同月(期)比(%)				備 考 (資料出所等)	
		21/4~6	21/7~9	21/10	21/11		
漁業水揚	数量(千トン)	13	△ 7.6	12.7	12.8	△21.2	稚内・紋別・ 網走・枝幸港
	金額(百万円)	1,519	△28.6	△ 9.7	△10.5	△22.9	
生乳	出荷(トン)	81,228	1.9	2.2	1.4	0.6	ホクレン旭川・稚内・ 北見支所
製材	生産(千m <sup>3</sup> )	P 33	△31.0	r △23.0	P △19.8	P △17.8	上川・網走支庁 林務課
	うち針葉樹	31	△32.7	△24.3	△20.7	△17.2	
	広葉樹	2	△12.3	△ 6.9	△ 7.1	△25.5	
	出荷(千m <sup>3</sup> )	P 35	△31.9	r △23.5	P △18.4	P △14.5	
	うち針葉樹	32	△33.6	△24.4	△19.6	△14.3	
	広葉樹	3	△11.5	△13.1	△ 0.3	△17.5	
在庫(千m <sup>3</sup> )	P 37	※1 1.8	r ※2 6.1	P 7.5	P 5.0		
合板	生産(千m <sup>2</sup> )	4,658	△ 0.7	△11.8	△ 6.5	4.8	
	出荷(千m <sup>2</sup> )	4,761	△ 6.3	△15.1	△ 4.7	△ 7.2	
	在庫(千m <sup>2</sup> )	7,173	※1 3.1	※2 8.0	8.0	16.0	
建設	公共工事請負額(百万円)	12,798	△ 0.7	20.3	42.4	27.8	北海道建設業 信用保証(株)
	うち上川	6,585	2.0	19.5	16.3	1.8	
	宗谷	2,060	34.0	15.8	34.6	70.1	
	網走	4,153	△15.9	23.2	90.4	77.9	
	確認申請床面積(千m <sup>2</sup> )	33	△27.8	△19.8	△ 9.6	△24.5	旭川・稚内・ 網走・北見市
	うち居住用	23	△32.5	△26.8	△14.8	12.6	
非居住用	9	△20.7	△ 5.4	1.3	△58.4		
旭川市確認申請床面積(千m <sup>2</sup> )	22	△13.7	△16.9	△23.0	△37.5	旭川市	
旭川市確認申請住宅戸数(戸)	169	△13.5	△33.9	△26.7	1.2		
消費	大型店売上高(百万円)	4,963	0.9	※3 1.2	※3 8.7	※3 △ 2.3	日本銀行旭川事務所
	新車登録台数(台)	2,940	△ 5.7	2.4	8.7	19.8	自販連
	うち乗用車	2,431	△ 6.4	4.1	5.5	25.8	旭川・北見支部
	空港旅客数(人)	145,479	△17.2	△10.9	△18.6	△14.0	旭川・稚内・ 女満別・紋別空港
貨物	貨物輸送量(千トン)	1,067	△ 7.0	△ 1.2	r △ 4.8	5.6	日本銀行旭川事務所
電力	電力消費量(千KWH)	461,685	△ 0.5	△ 1.0	△ 2.5	1.1	北海道電力

注) 数量・金額の合計は四捨五入の関係上一致しないことがある

※1 21/6月末前年同月比

※2 21/9月末前年同月比

※3 一部大型店の閉店に伴い、前年同月比調整済。

		数量・金額 21/11月	前年同月(期)比(%)				備考 (資料出所等)	
			21/4~6	21/7~9	21/10	21/11		
雇 用	常用新規求人数(人)	2,058	△12.9	△1.7	4.0	6.5	旭川・稚内・北見・網走 公共職業安定所	
	旭川	1,152	△15.2	△7.7	△0.7	7.6		
	稚内	155	△6.9	26.2	19.2	19.2		
	北見・網走合計	751	△10.8	1.9	8.5	2.6		
倒 産	件数(件)	6	△30.0	△51.4	△14.3	±0.0	帝国データバンク 旭川・北見支店	
	金額(百万円)	1,900	△7.8	△76.9	△2.2	3.3倍		
金 融	手形交換高(百万円)	52,499	△14.8	△12.2	△21.1	17.2	札幌銀行協会 (道北7手形交換所分)	
	取引停止処分(枚)	1	△37.5	△66.7	0	△95.7		
	管内店舗表面預金 (末残、億円)	33,895	※1 2.3	※2 2.6	2.7	2.0	日本銀行旭川事務所	
	管内店舗貸出金 (末残、億円)	15,030	1.0	0.1	+0.0	△1.3		
	旭川市内銀行等貸出約定平均金利(%)	総合	2,089	※3 2.154 (△0.012)	※4 2.086 (△0.024)	※5 0.001		※5 0.002
		短期	1,770	1.852 (0.005)	1.762 (△0.055)	0.006		0.002
		長期	2,208	2.266 (△0.023)	2.209 (0.002)	△0.001		±0.000
	銀行券受入高(百万円)	9,302 21/12月: 7,329	△11.6	△12.6	△24.4	△15.8		
払出高(百万円)	9,183 21/12月: 25,877	2.0	1.7	△28.4	△4.4			

※1 21/6月末前年同月比

※2 21/9月末前年同月比

※3 21/6月末金利水準、( )内は前月比増減(△)ポイント

※4 21/9月末金利水準、( )内は前月比増減(△)ポイント

※5 前月比増減(△)ポイント、一部行については21/7月分より旭川市内全店舗を集計

○有効求人倍率(常用)

( )内は前年

年/月	旭川		稚内		北見		網走	
	倍	( )	倍	( )	倍	( )	倍	( )
20/12	0.37	(0.41)	0.43	(0.45)	0.46	(0.65)	0.39	(0.57)
21/1	0.36	(0.43)	0.46	(0.42)	0.44	(0.64)	0.41	(0.55)
2	0.37	(0.47)	0.51	(0.55)	0.44	(0.62)	0.45	(0.53)
3	0.37	(0.50)	0.48	(0.60)	0.40	(0.53)	0.46	(0.55)
4	0.36	(0.44)	0.43	(0.53)	0.35	(0.47)	0.43	(0.48)
5	0.33	(0.42)	0.48	(0.60)	0.32	(0.44)	0.42	(0.45)
6	0.32	(0.41)	0.58	(0.65)	0.35	(0.45)	0.44	(0.52)
7	0.34	(0.41)	0.57	(0.66)	0.40	(0.46)	0.44	(0.60)
8	0.36	(0.41)	0.60	(0.57)	0.43	(0.48)	0.51	(0.65)
9	0.39	(0.45)	0.69	(0.56)	0.51	(0.52)	0.52	(0.63)
10	0.39	(0.44)	0.66	(0.51)	0.52	(0.51)	0.51	(0.53)
11	0.39	(0.40)	0.59	(0.50)	0.53	(0.46)	0.46	(0.48)

公共職業安定所調べ